

# 令和5年度学校評価アンケートについて

## 4段階の評価

4よくあてはまる・3ややあてはまる・2あまりあてはまらない・1まったくあてはまらない

## 地域による評価

高評価（3.8以上）※

- ・学習や部活動への取り組み(3.8-0.1)

低評価（3.0以下）

- ・施設・設備の整備(3.0 ±0)

※数値は、令和5年度学校評価の全校平均値  
後ろの数値は前年度との差

## 保護者による評価

高評価（3.5以上）

- ・特色ある教育活動(3.6 ±0)
- ・社会的なルールの遵守(3.6 ±0)
- ・挨拶や時間厳守の習慣(3.6-0.1)
- ・意欲的な部活動への取組(3.7 ±0)
- ・最後までやり遂げようとしている(3.5-0.1)
- ・入学させて良かった(3.6 ±0)

低評価（3.0以下）

- ・活動状況の周知(3.0-0.2)
- ・保護者の意見への傾聴(3.0-0.1)
- ・施設や設備の整備(3.0-0.1)

## 生徒による評価

高評価（3.5以上）

- ・特色ある教育活動(3.8 ±0)
- ・服装や遅刻への適切な指導(3.5+0.1)
- ・学校行事の充実(3.5+0.1)
- ・適切な評価による成長促進(3.5 ±0)
- ・親身な進路指導(3.5 ±0)
- ・生徒のプライバシー保護(3.6 ±0)
- ・授業への意欲(3.50+0.2) ±0
- ・ふさわしい服装や言動(3.7 ±0)
- ・あいさつ・時間厳守(3.7 ±0)
- ・行事への意欲(3.7+0.1)
- ・部活動への意欲(3.7 ±0)
- ・入学して良かった(3.5+0.1)

低評価（3.0以下）

- ・考査への計画的な学習(3.0-0.1)

## まとめ

全体の傾向としては、保護者による評価と生徒による評価は昨年度と比較して顕著に数値が変化した項目はなかったが、地域による評価では下がっている項目がいくつか見受けられた。

昨年に引き続き、地域の方から、本校の学校教育目標である文武両道の取り組みについて高い評価をいただくことができた。導入から次年度で3年目となる「自己発展学習」をより一層充実させたい。

また、施設・設備の整備については、3.0と依然として低い評価ではあるが、トイレの改修など着実に取り組んだ成果もあり、今後も市と協力し改善に向けて取り組みたい。

なお、生徒から定期考査への計画的な学習への準備が低評価であったことから、部活動との両立が図れるよう、各部活動顧問を中心とした対応が必要である。考査前には部員が集まり、勉強会を実施する部活動もあるので、そのような効果的な取組を広げていきたい。

併せて、生徒によるアンケート実施率の低さ(69.8%)が昨年度の大きな課題であったが、今年度は90.6%と約20ポイントの大幅な上昇となった。ウェブ上でのアンケートでありながらも実施率を高めるために、教職員全体で改善に取り組んだ結果であるので、次年度以降も高い実施率を保つことによって、学校評価アンケートの重要性を生徒に認識してもらい、地域・保護者・生徒・教職員が一丸となってよりよい習志野高校を築いていきたい。